

2021年8月26日  
 富士フイルム株式会社  
 富士フイルムメディカル株式会社

「富士ドライケム IMMUNO AG ハンディ COVID-19 Ag」 における  
 SARS-CoV-2 変異株の反応性に関して

新型コロナウイルス（SARS-CoV-2）において報告されておりますイギリス、南アフリカ、ブラジル、インドなどで確認された変異株ウイルスは、主にS蛋白（スパイク蛋白）をコードする遺伝子領域の塩基置換や欠損により病原性が変化したものです。富士ドライケム IMMUNO AG ハンディ COVID-19 AgはSARS-CoV-2のN蛋白（ヌクレオカプシド蛋白）抗原を検出します。N蛋白は比較的変異が少なく、タンパクの立体構造に大きな変化がない限り反応性に影響はないと考えられます。

富士フイルムは横浜市立大学と共同で、国立感染症研究所から提供された分離株を用いて検証を行い、「富士ドライケム IMMUNO AG ハンディ COVID-19 Ag」が以下に示すSARS-CoV-2 変異株を検出できることを確認いたしました。

WHOの呼称	Pango系統	最初に報告された国
アルファ株	B. 1. 1. 7	英国
ベータ株	B. 1. 351	南アフリカ
ガンマ株	P. 1	ブラジル
デルタ株	B. 1. 617. 2, AY. 1, AY. 2	インド

今後も SARS-CoV-2 変異株に関する情報をご提供いたします。

【お問い合わせ先】

富士フイルムメディカル株式会社  
 営業本部 IVD 事業部 学術グループ  
 東日本地区：03-6419-8035  
 西日本地区：06-7688-6967